

平成29年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	被災者支援に関する総合的対策の推進経費			担当部局庁	政策統括官(防災担当)	作成責任者			
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(被災者行政担当)	川上 一郎			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	災害対策基本法第86条の6、第86条の7			関係する計画、通知等	「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災の教訓を踏まえ、平成25年6月に災害対策基本法を改正し、新たに市町村が避難所等における良好な生活環境の確保に向けた取組が努力義務とされたところであり、内閣府としても「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」及び取組指針を踏まえたガイドラインを公表した。これらを踏まえた地方公共団体の取組状況を確認するとともに施策の徹底を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	指定避難所等の運営は自治事務であり、良好な生活環境の確保に向けた取組は努力義務であるが、内閣府としても、上記取組指針等により、地方公共団体に助言を行っているところである。その一環として、避難所運営等の被災者支援については、平成28年度調査によって把握できた課題への対応策として各地で進められている先進事例などを事例等報告書として公表するとともに、地方公共団体に周知したところである。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	15	20	30	15.6	15.5		
	執行額	10	16	9.2	-	-			
	執行率(%)	67%	80%	31%	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	67%	80%	31%	-	-			
	平成29・30年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由				
災害関係調査費		15.6	15.5						
計		16	16						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック		
定量的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と26~28年度の達成状況・実績					
	事業の実施の成果は、一般的に被災後に初めて判明し、また、被災規模により異なるため、定量的な指標による算出は困難。			平成25年6月の災害対策基本法の改正、取組指針等の作成を踏まえ、被災時に開設される指定避難所等が良好な生活環境となることを目標とし、様々な研修等の機会を通じて、地方公共団体へ周知徹底を図っている。					

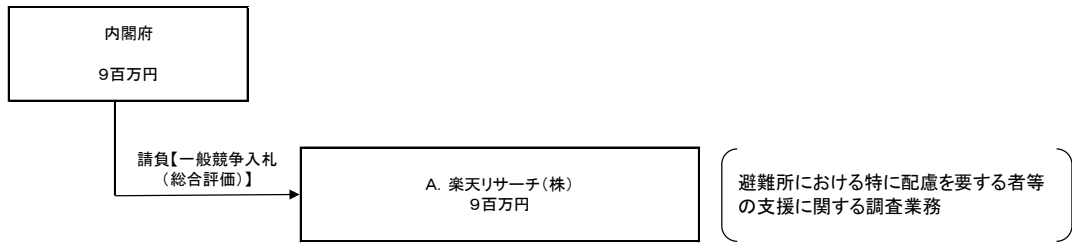
目標の設定が困難な場合	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		避難所の設置・運営主体となる地方公共団体に、平成25年6月の災害対策基本法の改正、取組指針の内容を周知し、これらを踏まえた地方公共団体の取組について、発災後の避難所の運営等の確認を行う。		各自治体の避難所運営において求められた事項に対応するマニュアルの修正等の達成率	実績	%	-	-	-	-	-
					目標値	%	-	-	-	100	
					達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	地方自治体への取組指針等の周知活動			活動実績	回	2	3	3	-	-	
				当初見込み	回	2	3	2	2	-	
単位当たりコスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	契約額／調査件数			単位当たりコスト	百万円	10	10	9	16		
				計算式	/	10/1	19/2	9/1	16/1		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	9. 防災政策の推進								
		施策	③災害復旧・復興に関する施策の推進								
	測定指標	定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
					実績値	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
		定性的指標	目標		目標年度	施策の進捗状況(目標)					
		復旧・復興施策・被災者支援に関する説明会における参加地方公共団体数	全都道府県		平成29年度	施策の進捗状況(実績)					
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	取組指針及び取組指針に基づくガイドライン等の地方公共団体への周知を図る。										
	経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-							
(第一階層) KPI		KPI (第一階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
					成果実績	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
				成果実績	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											

事業所管部局による点検・改善		
項目	評価	評価に関する説明
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	平成25年6月の災害対策基本法の改正にも盛り込まれ、ニーズを反映している。
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	内閣府が策定した取組指針等を踏まえ、避難所運営等の被災者支援について把握できた課題への対応策として各地で進められている先進事例等をまとめものであり、国が実施すべきものである。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	避難所での安全で安心な生活環境の確保に繋がる重要な施策であり、優先度の高い事業である。

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	予算執行においては、原則一般競争入札を採用するようにしており、透明性・競争性の確保を図っている。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	入札の結果、落札率が低かったためであり、必要な業務は全て実施している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	必要な費目に限定して予算要求、執行をしている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	入札の結果、落札率が低かったため	
事業の有効性	線越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	一般競争入札(総合評価方式)を採用し、コスト削減を図った。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	目標どおり実施することができた。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	都道府県担当者向け説明会を開催することにより、地方公共団体等に対する説明会を開催するなど目標どおりに達成することができた。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	実施した調査データをHPで公表し、さらに、これらのデータを踏まえ、都道府県担当者向け説明会等を開催することにより、地方公共団体等への周知が図られたものである。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	避難所での安全で安心な生活環境の確保に関する調査を適切に行い、結果を地方公共団体に周知し十分に活用されている。予算の執行においては、一般競争入札(総合評価方式)を採用し、競争性、透明性の確保を図っている。			
	改善の方向性	今後も引き続き、政策課題に応じた適切な調査事業等の企画・立案に努めるとともに、調査発注時の工夫により事業の質の確保と効率的な予算執行に努める。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的かつ適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理を行い、競争性を確保した契約を行うことにより予算の効率的かつ適正な執行に努める。				
備考					
避難所の生活環境対策 http://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/index.html					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	新25追加-0004
平成25年度	新25-0005	平成26年度	0043	平成27年度	0045
平成28年度	0040				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

